

事業所名

子ども発達支援センターフレンズあすわ
(児童発達支援)

(別添資料1)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

3

月

1

日

法人(事業所)理念		<p>パーパス：だれ一人取り残すことなく、途切れない支援を行い、地域社会から生きづらさをなくす。 ミッション：仲間とともに、福祉の専門家として常により良い支援を考え、行い、改善する。地域と福祉のより良い未来を志向する。 ビジョン：共に生きている。それがふつうの世の中に。</p>											
支援方針		<p>○「あっ！と驚く毎日が待っている」「すきな事をどンドン見つけよう」「わたしらしくいられる場所」 ・発達のねらいに合わせたクラス(うさぎ、ぞう、らいおん、ペンギン)編成を行い、スモールステップを意識しながら個々に合わせた小集団支援を行います。 ・活動を通して、自己肯定感を育むと共に、自身の好きな事や苦しい事を知っていきながら強みや弱みを活かした支援を考えます。 ・失敗しても「また次挑戦しよう！」と前向きに思える力を育てます。</p>											
営業時間		9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※個別にご相談ください
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの健康状態の維持や改善を目指します。 常勤する看護師と医療機関とが連携を行い、必要に応じた医療ケアを実施します。 生活習慣や生活リズムの形成(食事、排泄、清潔、午睡等)、基本的な生活スキルの獲得の支援を行います。 昼食は外注(法人内)対応(状況に応じて自宅からのお弁当持参も可能)します。口腔内機能、感覚等に配慮しながら可能な限り個別に対応します。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒、トランポリン、太鼓橋、丸太ブランコ等の遊具を通し、身体を動かす事の楽しさ、身体の動かし方を経験しながら運動機能や体感バランスの向上を行います。 スヌーズレンでの活動時間を通し心身のリラクセスを促します。 姿勢保持と運動・動作の補助的手段として、個々に応じた椅子を準備。負担なく着席時間を伸ばしていけるよう支援を行います。 水、泡、粘土、砂、絵具等を活用したさまざまな感覚遊びを通して五感や想像力を育てるように支援します。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスでスケジュールを提示し行動を促す事で、集団での流れやルールを体験する共に、時間、空間の認知と適切な行動の習得を促します。 視覚、聴覚、触覚等のさまざまな感覚の活用を促し、自身で情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行います。 形・色・音・大小・数・時間等の概念の形成(スケジュール説明時に日付・人数の確認等)を促します。 コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な対応への支援を行います。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上、特性や興味関心に応じた一人ひとりに合ったコミュニケーションスキルの習得や代替手段(表情、身振り、ジェスチャー、視覚情報、手話等)の習得を目指します。 遊びを通して「読み」「書き」に触れていながら、就学に向けたスキルを習得を目指します。 補助的な機器(補聴器、眼鏡等)を装着する為の訓練や、管理を行います。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 所属となるクラスを中心に、信頼関係(愛着形成)や人間関係の形成を促します。 一人ひとりの遊び(模倣、ごっこ遊び、協同遊び等)の成長に合わせ、お友達との関わり方や仲間作りを学びながら社会性を促します。 ”待つ””譲る”等、相手に合わせる経験を通して、自己コントロールする力を育みます。 活動や遊びを通して成功経験や失敗経験を繰り返していきながら、自己肯定感を育み、失敗しても前に進める力を育みます。 活動や遊びを通して一人ひとりの得意な事、苦しい事を探求し、余暇の充実や、気持ちの切り替えポイントを見つけ支援に活かして行きます。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ご家族の子育てに関する困りごとに対して相談や助言を行います。 事業所で「できた」経験をご家庭でも応用できるように、具体的な支援方法と共にお伝えしていきます。 家族のレスパイト時間の確保や就労による預かりニーズに対応し、延長支援を行います。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ライフステージを意識し、こどもを取巻く関係機関との情報共有や密な連携を行い、途切れない支援を行います。 移行先と連携し、移行に必要なスキルの獲得を目指します。 					
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、学校、併用している放デイ事業所等と連携を取り、ご本人と関わる機関が共通理解の下で支援が行えるようにします。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 法人研修として、全職員に対して実施プログラムに沿った研修を受講。 e-ラーニングの視聴環境を整え、年間計画に沿って、受講効果を高めるための合同研修の実施。 ケース検討を通して、支援技術等の向上。 各種外部研修への派遣(法定研修や所属団体の研修など) 					
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 健康診断(年2回)、歯科健診(年2回)、防災訓練(毎月) 足羽東こども園との交流(単独通園の方のみ、年4回程度) 芸術活動(あすわのこどもアート展、各種外部団体作品展など)への作品出展 フレンズみゆき・フレンズどれみとの合同の家族イベント 											